

国際自動車コンプレックス研究会 第11年次 活動概要 (2008.10~2009.9)

本年度は、①交流活動、②事業活動、③広報活動を行った。概要は、以下の通りである。

① 交流活動

研究会会員への情報提供、会員相互の情報交換の場として、第10年次報告総会、第29回研究交流会、第30回研究交流会、また豊橋技術科学大学と共催での講演会を実施した。具体的には、総会では国際的な港湾の状況と戦略について講演を行った。29回研究交流会では、最近のリサイクル部品販売動向やCO₂削減効果評価システムについて講演を行った。第30回研究交流会は、オバマ政権の政策についての講演を行った。また、豊橋技術科学大学との共催講演では、自動車税制と地域環境に関する講演会を行った。

表 総会・研究交流会の内容一覧

第10年次報告総会 2008.12.10 豊橋市民センター 参加者：68名	記念講演	「国際的な港湾の動向と展望-変貌する港湾経営と戦略-」 国際港湾協会 (IAPH) 事務総長 井上聰史 氏
自動車税制と地域環境 に関する講演会 2009.1.29 豊橋市民センター 参加者：40名	講演1 講演2	「自動車産業の産業集積と自動車税制変更効果」 現代文化研究所 研究員 阿久根優子 氏 「環境共生社会と総合的政策」 海洋政策研究財団 政策研究グループ 研究員 櫻井一宏 氏
第29回研究交流会 2009.5.19 豊橋市民センター 参加者：49名	講演 企業プレゼンテーション	「リサイクル部品の活用による環境負荷削減効果について -グリーンポイントシステムとは-」 日本自動車リサイクル部品販売団体協議会 会長代行 清水信夫 氏 「総合リサイクルプラットフォーム構築にむけた取り組み 「廃棄物・資源循環管理システム」」 エコマネージ・ネットワーク株式会社 取締役 中村 薫 氏
第30回研究交流会 2009.8.7 名豊ビル 参加者：53名	講演1 講演2	「オバマ政権の多様性と日米関係」 在名古屋米国領事館 首席領事 マックス・カク 氏 「米・日交流と名古屋アメリカン・センターの活動」 名古屋アメリカン・センター 館長 ジョナス・ステュワート 氏

研究交流会と同様に、視察会を行った。平成20年12月に第2バースが供用開始された名古屋港飛島ふ頭南側コンテナターミナルの視察を7月に行った。10月には、平成21年6月に開港した富士山静岡空港と第二東名高速道路及び三遠南信自動車道の建設現場の視察を行った。

また、海外視察として、上海市では2010年の「上海万博」を前にして様々な開発が進められており、①上海市の開発戦略、②上海万博会場視察、③洋上30kmに開発され2005年末に開始された洋山深水国際港湾の視察、の3点を目的とした上海経済視察を実施した。

表 視察会の内容一覧

視察会1 2009.7.23 参加者：39名	訪問先	・名古屋港ポートビル会議室にて名古屋港港湾計画の説明 ・名古屋港管理組合港務艇「ぼーとおぶなごや・きそ」にて名古屋港内視察 ・飛島ふ頭南側コンテナターミナルの視察
視察会2 2009.10.14 参加者：40名	訪問先	・静岡空港 ・第二東名高速道路・三遠南信自動車道各建設現場
上海経済視察 2009.10.26~10.28 参加者：11名	訪問先	・上海経済セミナー (三井住友銀行有限公司、ジェトロ上海) ・上海市政府表敬訪問 ・洋山深水港視察 ・上海万博会場建設現場視察

② 事業活動

三河港地域の活性化を図るとともに、全国各地から輸入自動車愛好家の誘致や自動車文化の発信を行うことで、自動車メーカーのホームタウンである三河港地域を広くPRし、自動車のホームタウンづくり事業の調査を行った。

また、継続的な事業であるエコカーレースの事業展開に協力した。

③ 広報活動

ニューズレターを3回発行し、国内関係機関への情報提供を行った。

また、国外、国内地域からの港湾視察に対応して、地域状況、計画内容、研究会活動などの説明を行った。